



2023年5月15日

各 位

会 社 名 nms ホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 小野 文明
 (コード：2162 東証スタンダード)
 問合せ先 常務取締役コーポレート本部長 河野寿子
 (TEL：03-5333-1711 (代表))

**2023年3月期連結業績予想と実績値との差異および
 営業外費用（為替差損）計上に関するお知らせ**

2023年4月19日に公表した2023年3月期連結業績予想と、本日公表の実績値との差異について以下のとおりお知らせいたします。また、当第4四半期連結会計期間において、営業外費用（為替差損）を計上しましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期連結業績予想と実績値との差異（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回公表予想 (A)	百万円 79,200	百万円 1,370	百万円 1,260	百万円 335	円 銭 21.55
実 績 値 (B)	79,033	1,537	1,426	505	32.52
増 減 額 (B-A)	△167	167	166	170	
増 減 率 (%)	△0.2	12.2	13.2	50.7	
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	63,277	△361	122	△1,980	△121.17

2. 差異の理由

当連結会計年度末より、米国会計基準を採用している在外子会社において、米国会計基準ASU第2016-02号「リース」（以下、「本基準」という。）を適用し、当連結会計年度期首において、北米EMS事業におけるリース資産を連結貸借対照表に計上いたしました。

当該資産において減損の検討を行った結果、減損損失額385百万円を認識しております。当該減損損失については、本基準の経過措置として、当連結会計年度の期首利益剰余金に計上いたしました。

これにより、当連結会計年度における当該資産に対する減価償却費が計上不要となることから、業績の見直しを行った結果、営業利益、経常利益、当期純利益とも前回公表予想を上回ることとなりました。

3. 営業外費用（為替差損）の計上

当第4四半期連結会計期間において、為替差損586百万円を計上いたしました。これは、主に海外子会社へのグループ内貸付金に対する評価替えおよび海外子会社間の取引等によるものです。

当第3四半期累計期間において為替差益922百万円を計上しており、通期業績における為替差益計上額は336百万円となりました。

2023年3月期通期連結業績の詳細につきましては、本日公表の「2023年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」をご参照ください。

以 上